

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		2016 年 7 月 19 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
京都府長岡京市東神足1丁目10番1号		村田土地建物株式会社 代表取締役社長 藤田能孝
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001 : 2004	
適 用 範 囲	瀬村田製作所グループ 他60箇所	
導 入 年 月 日	2006 年 3 月 20 日	
認 証 番 号	724100	
基 本 方 針	私たちは、人類社会の真の豊かさを願ってセラミックスの特性を活かした電子材料・電子部品を主として開発・生産し、世界に供給しています。しかし、事業活動や製品そのものが、意図せずに地球環境に影響を与え、結果として生物多様性にも何らかの影響を与えていることは否めません。この影響を真摯に受け止め、創業の理念である社是の実践行動の一つとして、全組織を挙げて環境負荷の低減に取り組みます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	地球温暖化防止 ：目的 18FのCO2排出削減目標を原単位（在籍人員）で10F比▲10%削減とする。 ：目標 16FのCO2排出量を前年比▲1%削減する。	
目標を達成するための取組の内容	エネルギー使用量の削減（CO2削減） ・照明の自動調光と間引き及びLED化の拡大推進 ・熱源稼働時間の抑制・削減（特に都市ガス） ・外気活用による熱源稼働の制御（中間期はフル活用、冷暖房時に都市ガスの消費抑制）	
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー（CO2削減） ・照明の調光と間引きは実施済 ・熱源稼働時間の削減（ガス発生機を使用せず、夜間氷蓄熱使用） ・中間期には外気冷房を導入より空調制御を実施済 ・自然エネルギー（太陽光発電システム）の導入した。 ・LED照明を導入拡大・推進（新たに会議室など共用室へ展開）	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	温暖化防止の目的・目標に対し、計画通り進捗している。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	直近年度における関連法規に係る遵守性については、定期的に毎年内部と外部監査の審査を受診しているが、これまでに違反及び行政当局からの指摘は無い。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	EMSの評価・見直しについては毎年1回検討している。 H27年度は節電対応したが、前年と同等の使用量でした、H28年度も前年比-1%を目標値に施策も見直した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。